

2022年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年11月2日

上場会社名 兼松株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8020 URL <https://www.kanematsu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮部 佳也
 問合せ先責任者 (役職名) 主計部長 (氏名) 藤井 励起 TEL 03-5440-8111
 四半期報告書提出予定日 2021年11月9日
 配当支払開始予定日 2021年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	364,138	19.4	14,242	42.8	13,554	41.5	9,399	30.3	7,285	24.0	9,818	35.5
2021年3月期第2四半期	304,879	△14.6	9,970	△32.2	9,582	△32.6	7,215	△26.3	5,874	△24.8	7,245	△10.5

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	87.24	87.12
2021年3月期第2四半期	70.34	70.28

(注) 「営業利益」は、要約四半期連結損益計算書における「営業活動に係る利益」を示しております。
 「基本的1株当たり四半期利益」および「希薄化後1株当たり四半期利益」は、「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を基に算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	564,336	186,809	149,107	26.4
2021年3月期	557,495	180,492	143,926	25.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2022年3月期	—	30.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	700,000	7.8	28,000	18.5	28,000	18.7	15,000	12.7	179.62

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	84,500,202株	2021年3月期	84,500,202株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	984,240株	2021年3月期	988,461株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	83,513,025株	2021年3月期2Q	83,511,606株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
要約四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
要約四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2021年4月1日～9月30日）の世界経済は、米国主導で急回復を遂げてきましたが、変異型ウイルスの拡大に加えて、サプライチェーン（供給網）の混乱や国際商品価格の上昇などにより、楽観論が後退する局面となりました。

米国においては、大型経済対策に加えてワクチン接種の進展により経済活動は急速に回復し、世界経済を牽引していますが、変異株の拡大や供給網の混乱、インフレの懸念などから、先行きの不透明感も生じています。欧州においても、英国を中心に経済正常化へと舵を切りましたが、感染者数が再拡大する中で回復の勢いは衰えつつあります。中国においては、変異株拡大に加えて、電力供給の制限や不動産市場への規制、成長から分配への政策転換などが下押し圧力となり、減速傾向が鮮明となりつつあります。

先進国の中で大きくワクチン接種が遅れていた我が国は、第四波、第五波の中での度重なる緊急事態宣言とそれに伴う行動制限により、主要国経済の中ではもっとも鈍い回復に留まっております。

このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、次のとおりとなりました。

市況上昇を受けた畜産事業や食糧事業、原油価格上昇により原油・石油製品取引高が増加したエネルギー事業を中心にほぼすべての事業において増収となりました。官公庁向け契約の端境期となった航空宇宙事業は減益となった一方、増収の畜産事業やICTソリューション事業、エネルギー需要の回復を受けた鋼管事業で増益となりました。

その結果、収益は、前年同期比592億59百万円（19.4%）増加の3,641億38百万円となり、売上総利益も、前年同期比64億53百万円（13.6%）増加の539億14百万円となりました。営業活動に係る利益は、販売費及び一般管理費は増加しましたが売上総利益などの増加により、前年同期比42億72百万円（42.8%）増加の142億42百万円となりました。また、営業活動に係る利益の増加などにより、税引前四半期利益は、前年同期比39億72百万円（41.5%）増加の135億54百万円となり、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比14億11百万円（24.0%）増加の72億85百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 電子・デバイス

収益はモバイル事業や半導体部品・製造装置事業の増収により前年同期比158億75百万円増加の1,188億15百万円、営業活動に係る利益はICTソリューション事業や半導体部品・製造装置事業の増益により12億47百万円増加の87億12百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は5億25百万円減少の30億3百万円となりました。

② 食料

収益は畜産事業や食糧事業の増収により前年同期比190億65百万円増加の1,420億4百万円、営業活動に係る利益は畜産事業、食品事業の増益により24億51百万円増加の27億79百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は11億35百万円増加の19億31百万円となりました。

③ 鉄鋼・素材・プラント

収益はエネルギー事業や鋼管事業の増収により前年同期比240億12百万円増加の651億78百万円、営業活動に係る利益は鋼管事業や工作機械・産業機械事業の増益により7億91百万円増加の12億62百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は5億51百万円増加の14億17百万円となりました。

④ 車両・航空

収益は航空宇宙事業の減収により前年同期比5億22百万円減少の320億22百万円、営業活動に係る利益は航空宇宙事業の減益により3億59百万円減少の9億59百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は3億68百万円減少の5億61百万円となりました。

⑤ その他

収益は前年同期比8億29百万円増加の61億16百万円、営業活動に係る利益は1億13百万円増加の5億13百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は11百万円増加の2億48百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および資本の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比68億41百万円増加の5,643億36百万円となりました。

有利子負債については、短期借入金の増加などにより前連結会計年度末比17億17百万円増加の1,238億74百万円となりました。現預金を差し引いたネット有利子負債は、前連結会計年度末比44億26百万円増加の449億46百万円となりました。なお、有利子負債にはリース負債を含めておりません。

資本のうち、親会社の所有者に帰属する持分については、親会社の所有者に帰属する四半期利益の積上げなどにより、前連結会計年度末比51億81百万円増加の1,491億7百万円となりました。

その結果、親会社所有者帰属持分比率は26.4%、ネット有利子負債資本倍率（ネットDER）は0.3倍となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比29億16百万円減少の781億29百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、営業収入の積上げなどにより、101億44百万円の収入（前年同期は203億66百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、子会社の取得や持分法適用会社への追加出資などの事業投資の実行により、68億42百万円の支出（前年同期は36億45百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加による収入があった一方で、リース負債の返済や配当金の支払いなどにより、63億60百万円の支出（前年同期は225億39百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、2021年5月7日公表の連結業績予想から変更はありません。

* 将来情報に関するご注意

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (2021年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	81,045	78,129
営業債権及びその他の債権	207,285	203,587
棚卸資産	99,711	109,744
その他の金融資産	6,512	6,040
その他の流動資産	26,339	27,053
流動資産合計	420,894	424,556
非流動資産		
有形固定資産	42,246	42,741
のれん	10,296	10,409
無形資産	24,926	25,089
持分法で会計処理されている投資	11,869	14,568
営業債権及びその他の債権	1,280	1,228
その他の投資	33,536	32,609
その他の金融資産	7,079	7,219
繰延税金資産	2,318	2,385
その他の非流動資産	3,046	3,529
非流動資産合計	136,601	139,780
資産合計	557,495	564,336

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (2021年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	182,980	183,464
社債及び借入金	57,723	62,938
リース負債	6,999	6,567
その他の金融負債	5,442	5,494
未払法人所得税	2,942	3,219
引当金	607	485
その他の流動負債	28,213	27,266
流動負債合計	284,909	289,435
非流動負債		
社債及び借入金	64,434	60,936
リース負債	10,328	10,137
その他の金融負債	1,807	1,662
退職給付に係る負債	6,517	6,647
引当金	1,944	1,896
繰延税金負債	5,527	5,123
その他の非流動負債	1,533	1,687
非流動負債合計	92,093	88,091
負債合計	377,003	377,527
資本		
資本金	27,781	27,781
資本剰余金	27,034	27,093
利益剰余金	78,070	83,005
自己株式	△1,311	△1,304
その他の資本の構成要素		
在外営業活動体の換算差額	1,633	2,193
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	10,163	10,287
キャッシュ・フロー・ヘッジ	554	50
その他の資本の構成要素合計	12,351	12,531
親会社の所有者に帰属する持分合計	143,926	149,107
非支配持分	36,566	37,701
資本合計	180,492	186,809
負債及び資本合計	557,495	564,336

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
収益	304,879	364,138
原価	△257,418	△310,224
売上総利益	47,461	53,914
販売費及び一般管理費	△38,094	△41,358
その他の収益・費用		
固定資産除売却損益	△23	△22
固定資産減損損失	△14	△12
その他の収益	1,004	2,010
その他の費用	△362	△287
その他の収益・費用合計	604	1,686
営業活動に係る利益	9,970	14,242
金融収益		
受取利息	95	72
受取配当金	423	533
その他の金融収益	—	45
金融収益合計	519	651
金融費用		
支払利息	△1,030	△796
その他の金融費用	△150	△1,582
金融費用合計	△1,181	△2,378
持分法による投資損益	273	1,038
税引前四半期利益	9,582	13,554
法人所得税費用	△2,366	△4,155
四半期利益	7,215	9,399
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	5,874	7,285
非支配持分	1,341	2,114
計	7,215	9,399
親会社の所有者に帰属する1株当たり 四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	70.34	87.24
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	70.28	87.12

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
四半期利益	7,215	9,399
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産	1,334	249
確定給付制度の再測定	△2	△0
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	8	13
純損益に振り替えられることのない項目合計	1,340	263
純損益にその後に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△963	442
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△149	△502
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	△197	216
純損益にその後に振り替えられる可能性のある 項目合計	△1,310	155
税引後その他の包括利益	30	419
四半期包括利益	7,245	9,818
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	6,108	7,620
非支配持分	1,136	2,197
計	7,245	9,818

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2020年4月1日残高	27,781	26,957	69,540	△1,309	930	6,816
四半期利益			5,874			
その他の包括利益					△901	1,292
四半期包括利益	—	—	5,874	—	△901	1,292
配当金			△2,505			
非支配持分株主に 対する配当金				△0		
自己株式の取得						
自己株式の処分						
非支配持分株主との資本取引		△42				
株式報酬取引		29				
所有者との取引額合計	—	△13	△2,505	△0	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替			△35			33
2020年9月30日残高	27,781	26,943	72,873	△1,310	28	8,142

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			親会社の所有者 に帰属する持分 合計		
	キャッシュ・ フロー・ヘッジ	確定給付制度の 再測定	その他の資本の 構成要素計			
2020年4月1日残高	113	—	7,860	130,829	35,344	166,174
四半期利益			—	5,874	1,341	7,215
その他の包括利益	△154	△2	234	234	△204	30
四半期包括利益	△154	△2	234	6,108	1,136	7,245
配当金			—	△2,505		△2,505
非支配持分株主に 対する配当金			—	—	△924	△924
自己株式の取得			—	△0		△0
自己株式の処分			—	—		—
非支配持分株主との資本取引			—	△42	△93	△136
株式報酬取引			—	29		29
所有者との取引額合計	—	—	—	△2,518	△1,018	△3,536
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替		2	35	—		—
2020年9月30日残高	△40	—	8,130	134,419	35,463	169,882

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2021年4月1日残高	27,781	27,034	78,070	△1,311	1,633	10,163
四半期利益			7,285			
その他の包括利益					560	279
四半期包括利益	—	—	7,285	—	560	279
配当金			△2,505			
非支配持分株主に 対する配当金				△1		
自己株式の取得				8		
自己株式の処分		0				
非支配持分株主との資本取引		5				
株式報酬取引		54				
所有者との取引額合計	—	59	△2,505	6	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替			155			△155
2021年9月30日残高	27,781	27,093	83,005	△1,304	2,193	10,287

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			親会社の所有者 に帰属する持分 合計		
	キャッシュ・ フロー・ヘッジ	確定給付制度の 再測定	その他の資本の 構成要素計			
2021年4月1日残高	554	—	12,351	143,926	36,566	180,492
四半期利益			—	7,285	2,114	9,399
その他の包括利益	△504	△0	335	335	83	419
四半期包括利益	△504	△0	335	7,620	2,197	9,818
配当金			—	△2,505		△2,505
非支配持分株主に 対する配当金			—	—	△1,046	△1,046
自己株式の取得			—	△1		△1
自己株式の処分			—	8		8
非支配持分株主との資本取引			—	5	△16	△10
株式報酬取引			—	54		54
所有者との取引額合計	—	—	—	△2,439	△1,062	△3,501
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替		0	△155	—		—
2021年9月30日残高	50	—	12,531	149,107	37,701	186,809

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントの利益は、親会社の所有者に帰属する四半期利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益および振替高は外部顧客との取引価格に準じて決定しております。

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結
	電子・ デバイス	食料	鉄鋼・ 素材・ プラント	車両・航空	計			
収益								
外部顧客からの収益	102,940	122,939	41,166	32,544	299,592	5,287	—	304,879
セグメント間収益	126	0	19	2	148	103	△251	—
収益合計	103,067	122,940	41,186	32,547	299,740	5,390	△251	304,879
営業活動に係る利益 または損失(△)	7,465	328	471	1,318	9,583	400	△12	9,970
セグメント利益または 損失(△)	3,528	796	866	929	6,121	237	△484	5,874

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・保険サービス事業およびジオテック事業等を含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

- ・営業活動に係る利益または損失(△)の調整額△12百万円には、セグメント間取引消去△12百万円が含まれております。
- ・セグメント利益または損失(△)の調整額△484百万円には、セグメント間取引消去△16百万円、各セグメントに配分していない全社費用△468百万円が含まれております。全社費用の主な内容は、当社において発生する実際の法人所得税費用と、社内で設定している計算方法により各セグメントに配分した法人所得税費用との差異等であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結
	電子・ デバイス	食料	鉄鋼・ 素材・ プラント	車両・航空	計			
収益								
外部顧客からの収益	118,815	142,004	65,178	32,022	358,021	6,116	—	364,138
セグメント間収益	193	0	17	3	214	117	△332	—
収益合計	119,008	142,005	65,196	32,025	358,236	6,234	△332	364,138
営業活動に係る利益 または損失 (△)	8,712	2,779	1,262	959	13,714	513	15	14,242
セグメント利益または 損失 (△)	3,003	1,931	1,417	561	6,912	248	124	7,285

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・保険サービス事業およびジオテック事業等を含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

- ・営業活動に係る利益または損失 (△) の調整額15百万円には、セグメント間取引消去15百万円が含まれております。
- ・セグメント利益または損失 (△) の調整額124百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各セグメントに配分していない全社費用117百万円が含まれております。全社費用の主な内容は、当社において発生する実際の法人所得税費用と、社内で設定している計算方法により各セグメントに配分した法人所得税費用との差異等であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2022年3月期 第2四半期 連結決算（補足説明資料）

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがありますので、本情報や資料の利用については、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行ってくださいようお願い致します。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

なお、表示の数値は、億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。

<サマリー>

■ 前年同期比、増収増益。コロナ前へ概ね回復。

◇ 収益	3,641 億円	19.4% 増収
◇ 営業活動に係る利益	142 億円	42.8% 増益
◇ 税引前四半期利益	136 億円	41.5% 増益
◇ 親会社所有者帰属四半期利益	73 億円	24.0% 増益

■ 営業活動利益進捗率：51%、当期利益進捗率：49%と順調。

1. 損益の状況

(単位：億円)	2021/3月期	2022/3月期	前年同期比		2022/3月期	
	第2四半期	第2四半期	増減額	増減率	見通し	進捗率
収益	3,049	3,641	593	19.4%	7,000	52.0%
売上総利益	475	539	65	13.6%	-	-
販売費及び一般管理費	△ 381	△ 414	△ 33	-	-	-
その他の収益・費用	6	17	11	179.3%	-	-
営業活動に係る利益	100	142	43	42.8%	280	50.9%
利息収支	△ 9	△ 7	2	-	-	-
受取配当金	4	5	1	-	-	-
その他の金融収益・費用	△ 2	△ 15	△ 14	-	-	-
金融収益・費用	△ 7	△ 17	△ 11	-	-	-
持分法による投資損益	3	10	8	280.3%	-	-
税引前四半期利益	96	136	40	41.5%	280	48.4%
法人所得税費用	△ 24	△ 42	△ 18	-	-	-
四半期利益	72	94	22	30.3%	-	-
親会社所有者帰属四半期利益	59	73	14	24.0%	150	48.6%
1株当たり四半期利益 (円)	70.34	87.24	16.90	24.0%	179.62	48.6%

【収益】

鉄鋼・素材・プラントセグメントを中心に、593億円の増収。

【営業活動に係る利益】

食料セグメントを中心に、43億円の増益。

【税引前四半期利益】

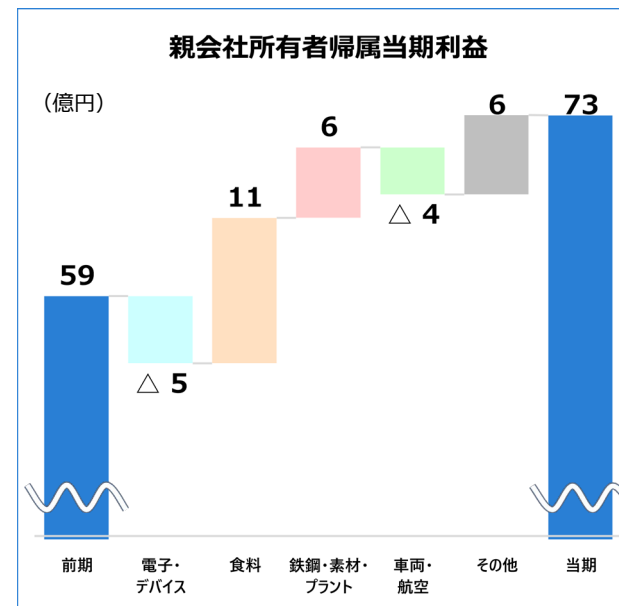
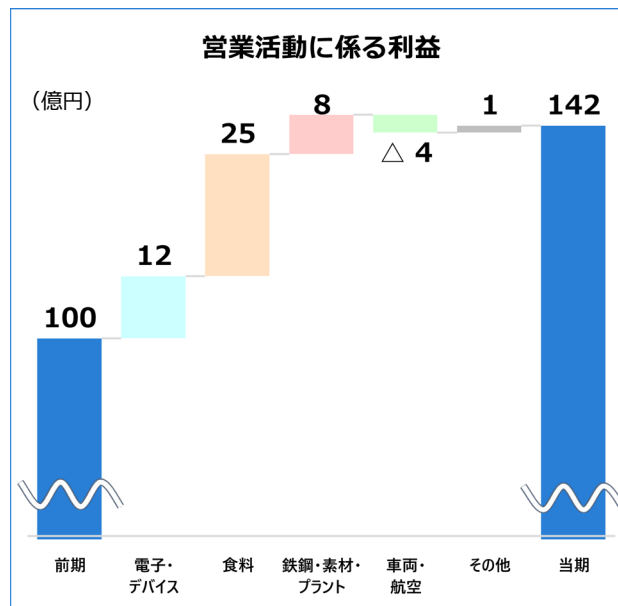
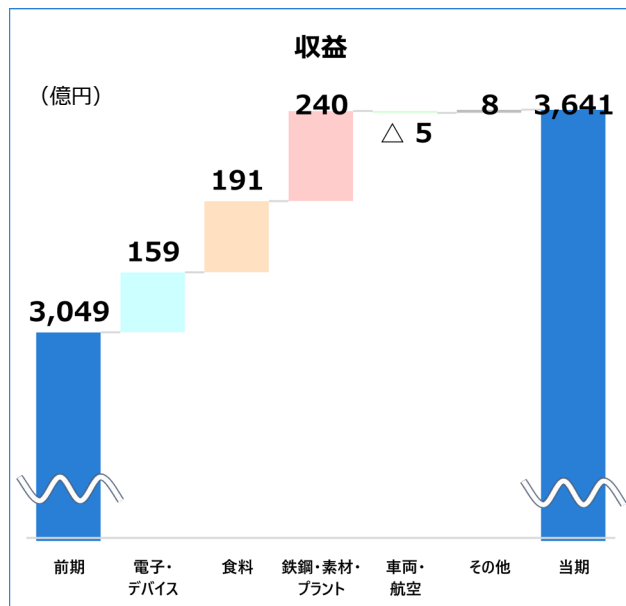
営業活動に係る利益の増加などにより、40億円の増益。

【親会社所有者帰属四半期利益】

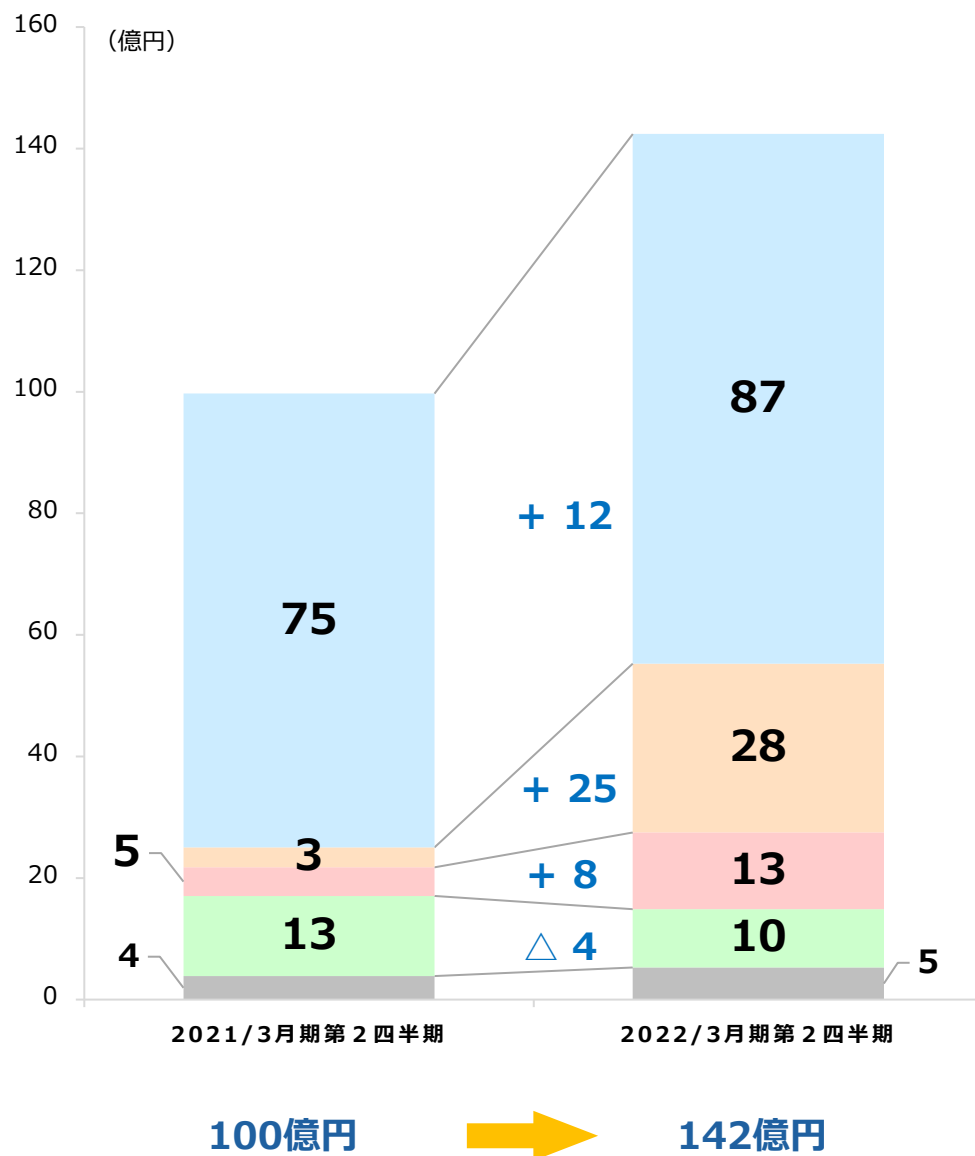
税引前四半期利益の増加に伴い、14億円の増益。

2. セグメント情報

(単位:億円)	収益					営業活動に係る利益					親会社所有者帰属当期利益				
	2021/3月期 第2四半期	2022/3月期 第2四半期	増減	2022/3月期		2021/3月期 第2四半期	2022/3月期 第2四半期	増減	2022/3月期		2021/3月期 第2四半期	2022/3月期 第2四半期	増減	2022/3月期	
				見通し	進捗率				見通し	進捗率				見通し	進捗率
電子・デバイス	1,029	1,188	159	2,500	48%	75	87	12	192	45%	35	30	△ 5	90	33%
食料	1,229	1,420	191	2,600	55%	3	28	25	35	79%	8	19	11	23	84%
鉄鋼・素材・プラント	412	652	240	1,100	59%	5	13	8	31	41%	9	14	6	25	57%
車両・航空	325	320	△ 5	700	46%	13	10	△ 4	14	69%	9	6	△ 4	9	62%
報告セグメント合計	2,996	3,580	584	6,900	52%	96	137	41	272	50%	61	69	8	147	47%
その他(含む調整額)	53	61	8	100	61%	4	5	1	8	66%	△ 2	4	6	3	124%
総合計	3,049	3,641	593	7,000	52%	100	142	43	280	51%	59	73	14	150	49%



3. 営業活動に係る利益 <セグメント別増減>



前期比増減要因

【電子・デバイス】 **12** 億円 増益

ICTソリューション事業は、ネットワークセキュリティ関連のほか、ストレージ関連案件の増加などもあり好調に推移。モバイル事業は、ショップへの来店者数は戻りつつあるものの緊急事態宣言や通信キャリアからの支援金の減少もあり微増。半導体部品・製造装置事業は、旺盛な需要を受けて半導体・液晶パネル関連の製造装置・消耗品の出荷が伸長し順調に推移。

【食料】 **25** 億円 増益

畜産事業は、需要の回復に加え畜産物全般の価格が大きく上昇し、外食関連販売で苦戦した昨年からの反動により大幅増益。食品事業は、リテール市場向け商材の取引が伸長し順調に推移。食糧事業は、穀物・飼料価格上昇のもと堅調に推移。

【鉄鋼・素材・プラント】 **8** 億円 増益

鋼管事業は、エネルギー需要の回復を受け堅調に推移。工作機械・産業機械事業は、新型コロナウイルスの影響を強く受けた前年同期の事業環境から回復し堅調に推移。一方、エネルギー事業は、今後冬場のデリバリーで回復が見込まれるものの一時的に減益。

【車両・航空】 **4** 億円 減益

航空宇宙事業は、官公庁向け契約の端境期にあたり低調に推移。一方、車両・車載部品事業は、欧米含め取引先の生産が回復したことで車載部品取引が順調に推移。

4. キャッシュ・フローおよび財政状態

(単位：億円)	2021/3月期 第2四半期	2022/3月期 第2四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	204	101	△ 102
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 36	△ 68	△ 32
フリーキャッシュ・フロー	167	33	△ 134
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 225	△ 64	162

(IFRS第16号「リース」適用にともなう影響額)

営業活動によるキャッシュ・フロー	39	41	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 39	△ 41	△ 2

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業収入の積上げなどにより、101億円のキャッシュ・イン。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

子会社の取得や持分法適用会社への追加出資などの事業投資の実行により、68億円のキャッシュ・アウト。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

短期借入金の増加による収入があった一方で、リース負債の返済や配当金の支払いなどにより、64億円のキャッシュ・アウト。

(単位：億円)	2021/3末	2021/9末	増減
総資産	5,575	5,643	68
グロス有利子負債 (注1)	1,222	1,239	17
ネット有利子負債	405	449	44
自己資本 (注2)	1,439	1,491	52
内、利益剰余金	781	830	49
内、その他の資本の構成要素合計	124	125	2

(注1) グロス有利子負債は、リース負債を除いた社債及び借入金の合計額

(注2) 自己資本は、資本の「親会社の所有者に帰属する持分」

【総資産】

棚卸資産や持分法投資の増加などにより、68億円の増加。

【有利子負債】

短期借入金の増加などにより、44億円の増加。

【自己資本】

親会社所有者帰属四半期利益の積上げなどにより、52億円の増加。

自己資本比率は26.4%、ネットDERは0.3倍。

自己資本比率 (注3)	25.8%	26.4%	0.6%上昇
ネットDER (注4)	0.3倍	0.3倍	横ばい

(注3) 自己資本比率 = 自己資本 / 総資産

(注4) ネットDER = ネット有利子負債 / 自己資本

5. 株主還元・資本効率

【配当】

	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期(予想)
年間配当額/株 (円)	48	60	60	60	60
連結配当性向	24.8%	30.3%	34.8%	37.6%	33.4%

【当期利益・ROE・ROIC】

